

みしま

豪雪

当町の降雪・積雪の推移 単位/cm

月日	宮 下 (役場付近)			間 方
	降雪量	累計降雪量	積雪量	積雪量
2/8	30	676	110	187
2/9	24	700	120	202
2/10	1	701	110	182
2/11	33	734	134	205
2/12	22	756	140	203
2/13	13	769	130	205
2/14	1	770	120	202
2/15	0	770	109	189
2/16	21	791	127	208
2/17	3	794	121	208
2/18	5	799	110	201
2/19	5	804	115	205
2/20	5	809	115	209
2/21	35	844	145	225
2/22	15	859	150	224
2/23	22	881	152	247
2/24	40	921	163	259
2/25	20	941	165	261

2月後半になっても降雪が多く、青森県酸ヶ湯では5mを超える積雪を記録。当町でも雪かたしに追われる日が続きました。会津盆地では猛烈な地吹雪の日もあり、道路の通行止めや鉄道の運休など交通にも影響が出ました。

2013

3

March

広報みしま No. 240

3月

目次

- 2 **美しい村美しい風景** Vol.07
雪の回廊

- 特集
3 **写真が魅せる奥会津**

- 10 **TownNews7 みしまの出来事**
只見線で行く日帰りの旅／県内の大学生が雪かたし／古紙を使った素敵なかご作り／三島保育所で節分の豆まき／高々と積み上がった雪／雪の上の運動会でハッスル／町営スキー場にぎわう

- 12 **ズームイン6**
町民記者の地元密着通信
雪中の托鉢、西方で40年ぶり／涅槃会の団子まき、川井の松音寺／世界に一つだけのストラップ作り／高清水の流しびな作り／滝谷で宮下病院出前講座／除雪ボランティア活躍、西方地区

- 14 **町職員の給与と定員管理**

- 15 **空き家・住宅改修費等助成金
起業支援・雇用創出事業助成金**

- 16 うつくしまの道・サポート制度で
宮下地区、町、県が合意書締結
／滝谷建設工業㈱が町に寄附
／雪と火のまつりに137業者協賛

- 17 **県立宮下病院から**
インフルエンザのお薬

- 保健・子育て・健康づくり予定
／地域ふれあいサロン予定ほか

- 18 **民話** 第24話 地藏浄土

- ゆめぼけっと Book Review

- 19 三島サッカースポ少が県大会出場
／「コト八日」の疫病神除け
／プレイバック広報みしま

- 20 ふくしま心のケアセンター／福島
県の最低賃金／会津坂下警察署
から／町の人口と世帯

- 21 登記相談フリーダイヤル／中小
企業債務問題・事業再生相談／
国税専門官採用試験／国家公務
員採用試験／ご寄附

- 22 **伝統に彩られた雪の世界**
第41回雪と火のまつり

- 24 **三島町生活工芸品展**
全国編み組工芸品展



除雪で積み上げられた雪の壁。高いところは3メートルを超え、家が隠れてしまうほどに。地区住民の中で除雪機を運転する担当を決め、分担して除雪に当たっている（西方地区）

美しい村 美しい風景

Vol.07

日々の除雪で、高く高く積み上がる。
雪の回廊

雪の多い冬となりました。積雪は役場付近で2月25日朝に165cmを観測。間方地区では261cm、累計降雪量は1200cmを超え、町民の皆さんは雪かたしに追われました。また氷点下の寒さが長引き、道路も凍結した状態が続きました。

宮下の最深積雪は、記録が残っている限りでは、記憶に新しい平成18年の204cm。これは1月5日に観測しました。また昨年は雪解けが遅く、4月に入っても数十cmの残雪がありました。

早くに積もったり、長く解けなかったり。気まぐれな雪とのお付き合いは、避けては通れません。厳しくも優しい雪の光景も、冬を乗り越えた春の素晴らしさも、美しい村の美しい風景です。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,900人（2月1日現在）



奥会津を愛する人が撮る
一枚一枚の写真が、

その美しさ、凄さ、素晴らしさを、
わたしたちに教えてくれます。

一人でも多くの方に、
奥会津を知っていただき、
訪れていただきたいと思います。

特集 **写真が魅せる奥会津**

感動を切り取る

心揺さぶる写真

雄大な只見川、深い溪谷、急峻な山々――

奥会津の圧倒的な大自然は、一枚の写真に切り取られたとき、その迫力をそのままに、時に荒々しく、時に優しく、何よりも強い説得力をもって語りかけてきます。

引き込まれる一枚
それは地域の記憶

奥会津の魅力を語るとき、写真ははずせません。写真で見る奥会津の風景は、鮮烈なイメージとなって多くの人を魅了しています。

奥会津には首都圏や関西など遠くから多くの写真愛好者が訪れています。その写真によって、奥会津の魅力が全国に広められている面もあります。そして地元にも撮り続けている方々がいます。ここに住みながら、地域の姿を撮っていくことをライフワークとしている方々です。

いつも何げなく見ている風景も、写真になるとまた違う存在感を持つて見えます。広角、望遠などレンズの効果を生かし、一瞬を切り取ったファインダー越しの景色は、時間が止まったままそこにあります。ある時は歴史を物語り、ある時は懐かしい思い出がよみがえり、一枚一枚の写真が人々の

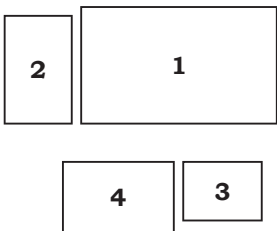
記憶と重なり、地域の記憶となって残っていきます。

写真をきっかけに
多くの人が奥会津へ

奥会津を写した写真は、さまざまな効果を地域にもたらしています。列車を撮影して楽しむ鉄道ファン、「撮り鉄」にとって、JR只見線は人気のローカル線です。2008年には日経プラスワンの紙面で、紅葉が美しい鉄道路線ランキング1位に選ばれました。さまざまな出版物で紹介されることも増え、訪れる人もさらに増えています。特別列車としてSLが走る日には、大勢の写真愛好者で沿線が込み合います。最近はその熱狂が行き過ぎ、撮影のために立木が切り倒されてしまうという被害もありました。許されないことです。ごく一部の非常識な行為であり、多くの方は常識を持って奥会津の旅行を楽しんでいます。

写真を見たこと、撮ることをきっかけに、宿に泊まって温泉に入ったり、郷土料理を食べたり、地元の人と親しくなって、何度も訪れるようになったり。一枚の写真から、たくさんのお出会いが生まれ、地域への波及効果へとつながっています。

町としても、観光面などでさまざまな写真を活用しながら、奥会津の魅力を発信しています。



- 1_ 早戸溪谷の雪景色（撮影／星賢孝さん）
- 2_ 春近し（撮影／佐藤美智子さん）
- 3_ お父さんはおっかい！（撮影／小島純さん）
- 4_ 錦秋の早戸溪谷（撮影／星賢孝さん）

撮り続ける人たち

奥会津が好きで、写真が好きで、撮り続ける方々がいます。積み重ねてきたその想いを聞きました。

息をのむアングルからの只見線は圧巻

地域のために、写真はすべて公開

只見川や山々の風景と、JR只見線の姿を主に撮り続けている星賢孝さん。本人しか知り得ないような撮影ポイントから撮った迫力ある写真に目を奪われます。その取り組みは撮影だけにとどまらず、地域のPRにつながるカレンダーや記念切手の製作なども手掛けています。

仕事のかたわら写真を撮り歩く星さんですが、以前は撮影に特別なこだわりはなかったといいます。

「山歩きやスキーなどアウトドアが趣味で、きれいな風景があるので、ついでに写真を撮っていたんです。撮り方もまったくの自己流。ちよつと本格的になったのは、6年前に奥会津カレンダーの製作を始めてから。できるだけいい写真を載せたいと思い、ポイントを探して撮り集めるようになりました」

多くの写真愛好者と星さんが違う点は、写真はすべて公開していること。広く普及しているフェイスブッ

クにすぐ公開し、奥会津をPRしています。公開された写真はほかの人も保存できるため、了承なしに利用されることもあります。

「自由に使ってもらっていいと思っています。地域のためになれば、それでいいです。特に只見線の全線復旧を強く願っています。ローカル線ではナンバーワンの只見線は、観光面でも非常に重要です。乗車しなくても只見線の姿を見に多くの人が訪れています。泊まつたり買い物したりと波及効果は大きいと思います。全線つながってなければ、いずれ廃線へと向かってしまいます。地域住民の本気を見せなければなりません」

3月16日・17日に開催される金山町でのイベント「麵スフェスティバル」で、写真仲間とともに写真展と撮影教室を開く予定の星さん。「あきらめずに只見線の早期復旧を願う輪を広げたい」と力を込めています。



星 賢孝さん 金山町雨沼

只見線を中心に奥会津の写真を撮り歩き、その迫力ある写真を公開し続ける。建設会社に勤務するかたわら、復興イベントなどに協力し、地域活性化のために尽力する。撮影した只見線の写真を使用して今年度発売された記念切手は、乗り物部門で1位、総合4位の人気を呼んでいる。



只見線の写真が入った記念切手

佐藤美智子さんは平成18年に当町へ移住しました。でも奥会津を含め会津地域での撮影は20年ほど前からだそうです。

「散歩しながら写真撮影を楽しんでいます。特に只見川に漂う川霧が好きでー。三島に来たのも写真を通じた縁がきっかけです。奥会津写真ツアーに毎回参加するうちに、宮下写真クラブの皆さんと知り合い、いろいろお世話していただきました」

佐藤さんはすぐ近所の身近な風景を多く撮影しています。普段は通りすぎてはいる何でもない風景の隠れた魅力を写し込みます。小さな花壇、植木、桐や柿の木、民家や蔵など、

町並みの風情を切り取ります。

「会津は自然がとてもきれいで、空も水も美しい。すぐその庭でも細かく見て、レンズを駆使すればいろいろな写真が撮れます。今はデジタルだからパソコンで編集するのも面白いですよ」

昨年10月に「日本で最も美しい村」連合に加盟した当町。佐藤さんも「訪れた人にきれいな町を見てもらいたい」と願っています。

「花をちよつと植えるだけでも、歓迎されていると感じるものですね。みんなで少しずつ家の周りをきれいにして、気持ちの良い町になればと思います」

すぐ近所の風景の、隠れた魅力を切り取る



佐藤 美智子さん 宮下

写真撮影がきっかけで平成18年に移住。身近な風景を独自の感性で切り取る写真は、鮮烈な印象を与える。第1回奥会津フォトコンテスト、グランプリなど受賞作品も多い。

味のあるモノクロで、「いい顔」を見事に写す

小島理容店に入ると、まず目に入ってくるのが人物のモノクロ写真、そして寄席文字の作品が所狭しと飾られています。髪を切りに来たお客は、待っている間、作品たちに目を奪われます。

「親父がカメラ好きで、いつも身近にありました。小学生のころからずっと撮っています」

寄席文字は落語に魅せられ独学で学び、ポスターの題字や表札、飲食

小島 純さん 宮下

人物のモノクロ写真を得意とし、自前の暗室で現像するこだわり。落語好きから寄席文字も得意とし、自宅の理容店は味のある写真と寄席文字作品のミニギャラリーとなっている。2004年に明治安田生命マイハピネス・フォトコンテストで銀賞を受賞。



店などのメニューの文字を頼まれることも多いそうです。また落語家を写した写真も多く飾られています。このミニギャラリーの名前は「童心庵」。作品を見ていると、楽しいな雰囲気、童心に帰ったような気分になります。

町民記者としても活躍する小島さん。地域活動の撮影もライフワークとしながら、人々の記憶に鮮明に残るモノクロ写真を撮り続けます。



写真愛好者の宿泊客から贈られた写真を見上げる女将の小林洋子さん

写真愛好者が泊まる宿 豪雨のときも温かい応援

栄光館

只見川と支流の大谷川が合流する場所にひっそりとたたずむ宮下温泉栄光館。玄関を入ると、奥会津の四季折々の風景を写した写真が飾られています。写真を撮り歩く宿泊客から贈られたものだそうです。

女将の小林洋子さんは「写真を撮る方が増えてきたのは20年ほど前から」と話します。

「飾りきれないほどたくさん頂いているんです。東京のほうから何度もお越しいただいて。飾ってある写真がほしいというお客さまもいて、撮影された方から贈ってくれたこともありますよ」

一昨年夏の豪雨災害では、増水した只見川になすすべもなく、1階の天井近くまで水没し、飾ってあった写真も水につかってしまいました。被害を知った撮影者の方から新しい写真が贈られ、きれいに復旧した館内に展示されています。

「皆さまの心遣いに本当に感謝しています。でも鉄橋が流されてしまっただけで、本当に残念。鉄道は奥会津の旅の大きな魅力です。ぜひとも復旧してほしいと願っています」

好きな写真を撮り歩き、ゆっくりと温泉で疲れを癒やす。そんな旅を通じて、静かな温泉宿に温かい交流が生まれています。



スマートフォンやパソコン画面で見ることができるフェイスブック。写真や文章を掲載して交流を楽しんだり、PRしたりできる

手元から全世界へ発信

全世界で約10億人が利用しているといわれるフェイスブック。日本でも多くの人々が利用し、自治体の公式利用も珍しくありません。奥会津地域でも利用者は増えており、今や都市でも山村でも同じようにインターネットでの交流が広がっています。



手軽になった写真撮影 フェイスブックで交流拡大

デジタルカメラの普及などにより、写真は多くの人々が手軽に撮れるものとなりました。今では本格的な一眼レフカメラも以前より安価になり、コンパクトカメラでも高画質できれいな写真を撮ることができま

す。また携帯電話、スマートフォンが広く普及し、撮った写真をインターネットに公開して交流を楽しむ人が増えています。

全世界で約10億人、日本では1600万人以上が利用しているフェイスブックには、毎日たくさん

の写真や文章が次々に掲載されています。誰でも自由に掲載でき、友人などが掲載したものについて感想を書くこともできます。企業もPRに利用しており、情報発信のために自治体が公式に利用する例も多くなっています。町民の皆さんの中でも、利用する方が増えているようです。

スマートフォンで、パソコンで、大きく広がっている交流の輪。奥会津の写真も、さまざまなかたちで全世界に発信されています。

美しい風景を巡り 楽しい旅を

道の駅尾瀬街道みしま宿
布川 孝宏 駅長



道の駅の近くには第一只見川橋梁の見えるビューポイントがあり、多くの写真愛好者の方々が訪れています。秋の紅葉の時期は特に絶景です。美しい風景を巡りながら、只見川沿いの旅を楽しんでいただきたいと思います。

「日本で最も美しい村」連合 フォトコンテスト作品募集



◎テーマ 「日本で最も美しい村」の情景
※加盟している当町内での写真をぜひ応募してください。

◎賞 金 グランプリ1点10万円、準グランプリ3点3万円 ほか
◎締 切 平成25年7月20日

※応募方法など詳しくは役場窓口で配布している募集チラシをご覧ください。

◎役場 地域政策課 ☎0241(48)5533



只見線で行く日帰りの旅

「新島八重」ゆかりの地を巡るツアー
只見線の全線復旧を願い利用促進



豪雪の中を走る只見線。埋もれていたのか、顔を覆われたまま会津宮下駅に到着した。ツアー参加者は久しぶりの鉄道の旅と、「八重の桜」に沸く会津巡りを楽しんだ

J R只見線で行く「新島八重ゆかりの地」を巡る日帰りツアーは2月23日に行われ、町民の方など9人が参加しました。放送中のNHK大河ドラマ「八重の桜」の舞台となっている会津若松を訪ねるツアー。しかし猛烈な地吹雪で列車が立ち往生してしまい、会津坂下駅からバスに乗り換えて会津若松市に向かいました。鶴ヶ城会館で昼食をとり、大河ドラマ館、会津藩校日新館を見学しました。思わぬアクシデントがありましたが、参加した皆さんは会津の歴史巡りを楽しみました。

只見線は一昨年夏の豪雨災害で橋梁が流失したままで、会津川口 - 只見間が不通となっています。ツアーを企画した町観光協会と町では、只見線の全線復旧を願い、路線の利用促進を目指しています。

ローカル線の魅力たっぷりの只見線。久しく乗っていないという皆さんも、ぜひ乗車して車窓からの景色を眺めてみてはどうですか。



屋根から落ちて高く積もった雪を片づける大学生の皆さん



県内の大学生が雪かたし

お年寄り宅を訪れボランティア作業

県内の大学生は2月13日、雪かたしを手伝いに西方地区を訪れ、豪雪地域の冬を体感しました。県会津地方振興局が「会津の田舎を守り隊事業」としてボランティアを募集し実施したものです。福島大、いわき明星大、会津大から24人が参加。一人暮らしのお年寄り宅2軒の雪かたしを行いました。家の周りには背丈よりも高く積み上がった雪の山。学生たちは重い雪に苦労しながらも、若いパワーで片づけました。



きれいな一貫張りを目指して作った参加者の皆さん



古紙を使った素敵なかご作り

一貫張り教室

一貫張り教室は2月23日、町民センターで行われ、約20人が参加しました。一貫張り職人の渡辺恵美子さん（福島市）の指導により、かごに古紙を張り柿渋を塗って作る一貫張りに挑戦。壊れたざるなどを再利用する昔からの工芸で、柿渋には防水、防腐、防虫などの効果があります。参加した皆さんは3月2日の2回目にかけて一貫張り作りに取り組み、自分だけの素敵なかごを完成させました。



February
Memory

2月のスナップ



豆まきをして悪い鬼を追い払った三島保育所の子どもたち



鬼は一そと一、福は一うち一。 三島保育所で節分の豆まき

三島保育所で2月1日、節分の豆まきが行われました。子どもたちが集まった広間に、矢澤源成所長が変装した鬼が雄叫びを上げて登場。子どもたちは勇気を出して豆をまくと、鬼は逃げていきました。続いて子どもたちが鬼の役と豆まきの役に分かれ、各部屋で豆まきを行い、保育所に福を呼びました。また年の数だけ豆を食べ、健やかな成長を願いました。



除雪中の事故に注意してください。

豪雪対策本部設置

各地区では除雪で飛ばされた雪が高く積み上がり、3mもの壁となった所もありました。町では2月24日に豪雪対策本部を設置し、特に高齢者世帯の状況を確認するなど被害防止に努めています。県内では除雪中の事故が発生しています。雪下ろし中の転落や、屋根からの落雪などには十分注意してください。また空き家が損壊する恐れがありますので、所有者の方には管理をお願いします。



高い雪の壁に囲まれた集落の小道（西方地区）



雪の上の運動会でハッスル！

すってんころりんピック

すってんころりんピックは2月17日、町営スキー場で開けられました。子どもから大人まで約100人が参加し、楽しい種目を繰り広げました。ブルーシートで作った大きなパンツでゲレンデを滑り降りるレースでは、斜面をコロコロ転がるように滑っていく子どもたちのかわいい様子が歓声が上がりました。また昼食は地域の方々がカレーライスやうどんなどを用意したほか、桑原地区の皆さんも出店しました。



ブルーシートで作った大きなパンツで滑り下りた子どもたち



町営スキー場にぎわう

3月10日㊥まで開放（土日のみ）

土日祝日に無料開放している町営スキー場は、気軽に楽しめる地域のゲレンデとして親しまれています。今シーズンは十分な積雪があり、きれいに圧雪された最高のコンディションとなりました。ロープトウ1基とティーバーリフト2基があり、地元の子供たちにとってスキーを覚える欠かせない場所です。また2月10日には、いわき市四倉の親子の皆さん約60人が訪れ、普段はできないスキーやそり遊びを楽しみました。



十分な積雪の中でスキーを楽しめた町営スキー場

ズームイン6 町民記者の地元密着通信



雪中の托鉢 西方で 40 年ぶり

文・写真 町民記者 坂内洋二さん（西方）



雪の回廊となった集落を歩いた托鉢

西方地区で 40 年ぶりの托鉢が 2 月 22 日・23 日に行なわれました。これは昨年夏から常住されるようになった西隆寺住職・遠藤弘佳和尚の「涅槃会ねはんえの団子まきをぜひやりたい」という強い想いから再現されたものです。午前 9 時半、西隆寺の鐘の音が響き渡り、弘佳和尚を先頭に地区の子どもや護寺会役員の一行が地区内を巡りました。降りしきる雪の中、道々で待っていた方々が米などの浄財を御供えし、合掌してお経を頂いていました。この托鉢で預かった浄財による団子まきは、3 月 20 日に西隆寺で行われます。

涅槃会ねはんえの団子まき 川井の松音寺

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）

お釈迦様のお亡くなりになった日とされる 2 月 15 日、川井の松音寺では早朝から檀信徒が参詣に集まり、住職の説話を拝聴し、涅槃経に耳を傾け、先祖の位牌壇に香をたきました。その後、待ちかねた団子まきに歓声を上げ、川井・大登の善男善女が楽しいひと時を過ごしました。団子は檀家のお母さん方が前日に 2 千個あまり作りました。

拾い集めた団子を焼いて食べると、一年間ぼんのう煩悩もなく幸せに過ごせるといわれています。大登では内玄関に備えて悪霊を退治する習わしがあります。



松音寺で行われた「涅槃会」の行事

世界に一つだけのストラップ作り

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



山ブドウ蔓皮を使ったストラップ作りを体験した宮下地区の皆さん



公民館宮下分館（近藤勇彦分館長）のふれあい事業は 2 月 24 日、宮下活性化センターで行われました。山ブドウ蔓皮のストラップ作りに地区住民の皆さん約 30 人が参加。世界に一つだけ、手作りのストラップ作りに、子どもからお年寄りまで一生懸命取り組みました。ストラップを作り終えた後は、地元有志の方々が作ってくださった、すいとんを食べながら楽しいひと時を過ごしました。

もうすぐひな祭り 高清水の流しびな作り

文・写真 町民記者 菅家敏一さん（高清水）



心を込めて流しびなを作る菅家良子さん（高清水）

もうすぐ桃の節句。女の子が健やかで優しい子に育つよう願いを込めて、おひな様を飾りお祝いをするのが習わしです。

高清水地区では毎年 3 月 4 日に「ひな流し」が行われます。子どもが各家を回り、紙で作られた流しびなを箱に集め、只見川に流す行事です。流しびなは数日前から各家で心を込めて作られています。皆さんも「ひな流し」をどうぞ見に来てください。

「風邪にかかったら」 滝谷で宮下病院出前講座

文・写真 町民記者 若林幸代さん（滝谷）

滝谷和楽塾は 2 月 19 日に行われ、県立宮下病院出前講座を開きました。講座では柏木先生の「風邪にかかったら」と題した講話を聞きました。なぜ熱が出るのか、なぜ咳が出るのか、また症状が出てすぐに薬を使ってしまうと、体が自分で治そうとがんばっているのを妨げ逆効果になることもあるなど、誰でもかかったことのある風邪ですが、分からないことも多く大変勉強になりました。受診のときには聞けなかったことにも答えていただきました。風邪にかかったら、あわてず冷静に判断するよう心がけたいものです。



柏木先生の講話を聞いた県立宮下病院出前講座

除雪ボランティア活躍 西方地区

文・写真 町民記者 坂内洋二さん（西方）



西隆寺の屋根の雪下ろしを行う護寺会の皆さん

ボランティア「いわくら」会員の方々は 2 月 3 日、一人暮らし高齢者宅 4 軒の除雪を行いました。また 2 月 10 日には、西隆寺の除雪作業に護寺会の方々約 40 人が協力し、屋根の雪下ろしを行い、軒まで埋まった雪を除雪機で飛ばして片づけました。

また 2 月 9 日から 11 日にかけて、いわき明星大学の学生など 19 人が西方ふるさとセンターに宿泊しながら、同センター周辺や高齢者宅の除雪作業を手伝っていただきました。

町職員の給与と 定員管理の状況を お知らせします。

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく人事院勧告を基本に、県や他の公共団体との均衡などを考慮し、条例で定められています。

平成24年4月1日現在の地方公務員給与実態調査および地方公共団体定員管理調査を基に、町職員の給与と定員管理の状況を公表します。

◆人件費の状況（平成23年度普通会計決算）

住民基本台帳人口（平成24年4月1日現在）1,925人

歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率 （B／A）
24億3,778万円	1億7,795万円	3億4,926万円	14.3%

③人件費には非常勤の特別職に支給する給料や報酬も含みます。

◆特別職の報酬等

区分	役職	月額	期末手当		
			6月期	12月期	計
給料 報酬	町長	48万5,800円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	教育長	47万4,300円			
	議長	22万5,000円			

⑨給料は、町長は30%減額、教育長は10%減額しています。

当町の定員管理の取り組み

当町では行財政改革の中で、勧奨退職、あらゆる事務事業の見直し、組織再編などを行ってきた結果、定員管理計画による職員削減目標を達成しました。平成24年度には、新たな定員管理計画を策定し、今後も適正な定員管理を行っていきます。

◆部門別職員数の状況（平成24年4月1日現在）

部門	職員数	前年度からの増減
一般行政部門	議会総務	1 ±0
	税務	11 ±0
	福祉	2 ±0
	農林水産	8 ±0
	商工	3 ±0
	土木	3 ±0
	小計	31 +1
特別行政部門	教育	7 -1
公営企業等 会計部門	水道	1 ±0
	国保	1 ±0
	その他 小計	1 ±0
合計	41	±0

④職員数は一般職に属する人数であり、臨時または非常勤職員は除いています。

◆職員給与費の状況（平成24年度普通会計予算）

職員数（A）	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	1人当たりの 給与費（B／A）
39	1億3,759万円	8,520万円	4,930万円	2億7,209万円	697万0,000円

④給与費は当初予算に計上した額です。

◆職員の平均年齢、平均給料・給与の月額

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	38.3歳	27万9,715円	30万3,213円
技能労務職	49.7歳	29万7,200円	31万0,200円

④給与＝給料＋諸手当

◆初任給および経験年数別・学歴別平均給料月額（一般行政職）

学歴	初任給	経験年数			
		2年	10年	15年	20年
大学卒	17万5,100円	18万7,200円	24万3,200円	28万9,400円	32万4,400円
高校卒	14万2,500円	15万1,000円	20万4,200円	24万3,200円	28万1,900円

④経験年数とは卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の年数をいいます。

◆職員手当の状況

	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.325月分	2.55月分
勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.35月分

その他の手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	時間外手当	寒冷地手当
支給総額	597万3,000円	139万3,700円	190万6,492円	763万1,300円	246万0,000円
1人当たりの 支給月額	1万2,762円	2,977円	4,073円	1万6,306円	1万2,615円

④1人当たりの支給月額は、支給総額をそれぞれの支給要件に該当する職員数で割った額です。

三島町空き家・住宅改修費等助成金

平成25年度申請を4月から受け付けます。

◆助成の対象

助成の対象は次のいずれかに該当するものとします。

① 定住・二地域居住または地域活動等の促進などが見込まれる空き家の改修

② 利活用の見込みのない空き家や、倒壊等の恐れのある空き家の解体

③ 新たに世帯員の増を伴って5年以上定住するための住宅の改修

※空き家とは、日常的に居住していない家屋であり、所有者等が日常的には居住せず定期的に利用している場合も含みます。（蔵、小屋などは含みません）

※改修とは、住宅機能の向上のための改築、増築、修繕、設備の改善等とします。ただし通常の家屋の維持管理に係る修繕等は含みません。

【その他の条件】

① 原則として町内業者により改修または解体を行うこと。
② 町税、使用料等の滞納がないこと。



③ 空き家であった家屋に現に居住している場合は、その居住期間が1年以内であり、今後も定住が見込まれること。

◆助成対象経費

空き家・住宅の改修または空き家の解体に係る次の経費

① 工事請負費
② 調査設計費
③ その他、町長が必要と認める経費

◆助成の額

助成対象経費の3分の2以内の額 ※ただし100万円を上限とします。

◆申請先

役場 地域政策課
☎（48）5533
※まずはご相談ください。

三島町起業支援・雇用創出事業助成金

申請は毎年度、通年で受け付けています。

① 起業支援事業

◆助成の対象

町内に事業所を有する、または新たに事業所を設置する法人または個人事業主が新たに起業する事業

※起業して1年以内の事業を含む。

※既存の事業所が新たな分野で起業する事業を含む。

◆助成対象経費および期間等

地域資源等を活用し新たに起業する事業に要する次の経費

① 商品等の試作開発費（原材料費、委託料、専門家等招聘謝金・旅費、印刷製本費、リース料、消耗品費等）※販売品に係る原材料費等の仕入れ経費を除く。

② 事業所等の家賃、借地料
③ 機器等のリース料
④ その他必要と認める経費
※施設整備費・施設改修費・備品購入費等の設備資金および既存事業に係る経費を除く。

【助成期間】 1年以内

◆助成の額

助成対象経費の3分の2以内（千円未満切り捨て）

※ただし100万円を上限とします。

② 雇用創出事業

◆助成の対象

町内に事業所を有する、または新たに事業所を設置する法人または個人事業主が新たに雇用する事業

◆助成対象経費および期間等

新たに雇用する従業員の賃金・社会保険料
【雇用条件】
① 正社員 1年以上の雇用契約
② パート 6カ月以上の雇用契約

【助成する雇用人数】

① 正社員 2人以内
② パート 3人以内
※正社員とパートの合計は3人以内とします。

【助成する雇用期間】
① 正社員 1年以内
② パート 6カ月以内

◆その他

起業支援事業と雇用創出事業の両方に申請することも可能です。

④ 国・県等の助成等を受けている場合は対象外とします。

◆申請

毎年度 通年受付
※申請年度内に助成期間が上限に満たない場合は、翌年度に残りの月数を助成期間として申請することができます。

◆申請先

役場 地域政策課
☎（48）5533
※まずはご相談ください。

※空き家・住宅改修費等助成金、起業支援・雇用創出事業助成金は、三島町まづくり基金を財源とする予算の範囲内で交付するものです。

インフルエンザのお薬 (治療と予防)

薬剤部 鈴木 学



●治療

抗インフルエンザ薬は、2000年にリレンザ（吸入）、2001年にタミフル（経口）、2010年にイナビル（吸入）、ラピアクタ（点滴）が発売され、現在4種類使用されています。

抗インフルエンザ薬の服用を適切な時期（発症から48時間以内）に開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、ウイルス排出量も減少します。なお症状が出てから2日（48時間）以降に服用を開始した場合、十分な効果は期待できません。効果的に使用するためには、医師に処方された用法、用量、期間（服用する日数）を守ることが重要です。

●予防

インフルエンザ発症前に抗インフルエンザ薬を投与することを「予防投与」といいます。耐性ウイルスの出現の観点から、以前はあまり推奨されていませんでしたが、2009年以降欧米で予防投与が推奨され、日本でも2012年、病院や高齢者施設での予防投与が日本感染症学会において提言されました。現在、予防投与に使用できるのは、タミフルとリレンザの2剤であり、服用量、服用期間が治療量とは異なるため、注意が必要です（予防では1日1回、7～10日投与します）。予防投与の適応には条件がありますので、当院の医師にご相談ください。

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎(48) 5565



実施予定

● 4カ月児健診

3月12日㊦ 11:15～ 坂下厚生総合病院

● 足腰げんき教室

▶室内運動編

3月12日㊦ 13:30～ 町民センター

▶水中運動編

3月28日㊦ 10:00 町民センター集合
(リステル猪苗代へ送迎)

● 機能訓練会

3月27日㊦ 14:00～ 福寿草

● 心の健康相談（※事前申し込み必要）

3月25日㊦ 13:30～ 福寿草
《申込先》町民課 ☎(48) 5565

地域ふれあいサロン

川井友愛サロン

3月11日㊦ 10:00～ 川井集会所

大石田友遊サロン

3月28日㊦ 10:00～ 大石田生活改善センター

心配ごと相談

3月14日㊦ 9:30～ 福寿草

●ボランティア団体連絡会

3月15日㊦ 13:30～ 福寿草

●町社会福祉協議会理事会

3月19日㊦ 10:30～ 福寿草

●町社会福祉協議会評議員会

3月19日㊦ 13:30～ 福寿草

☎町社会福祉協議会 ☎(52) 3344



(前列左から)二瓶隆司町長、長谷川誠宮下区長、県会津若松建設事務所の五十嵐健次郎所長が、道路周辺環境の維持管理に関する合意書に署名した

ポケットパークが完成し、宮下の憩いの場に 協力して道路周辺の美化を目指す 宮下地区、町、県が 合意書を締結

宮下地区と町、県の「うつくしまの道・サポート制度に関する合意書」締結式は2月14日、宮下活性化センターで行われました。これは花植えや草刈りなど美化活動に取り組む宮下地区と、それを支援する町、そして道路管理者である県が、連携して道路周辺環境を維持管理していくことを合意するものです。すでに平成21年度に締結していますが、今回は旧館墓地に整備されたポケットパークの管理について追加し、再度締結しました。

合意に基づく管理区間は、宮下町内から長坂にかけての県道（小林会津宮下停車場線、小栗山宮下線）とポケットパークです。宮下地区は清掃および美化運動などに努め、町は連絡調整を行うとともに、回収したごみなどの処分協力し、県は保険制度を適用するとともに必要に

応じ表示板などを設置します。締結式に出席した五十嵐健次郎建設事務所長は「地域の皆さんが道を大切に、新たに整備したポケットパークは町のオアシスとして活用され、地元はもちろん観光客にも安らぎを与えるような場所にしていただきたいと願っています。県としても適切な維持管理に努めます」と連携を約束しました。また長谷川誠宮下区長は「今までいろいろな問題、苦勞があつて、ポケットパーク整備が実現しました。多くの方の尽力に感謝し、大事に利用していきたいと思います」と話しました。二瓶隆司町長は「町のイメージの観点からも道路は重要です。今後も地区の活動を支援していきます」と話しました。

県内では169団体が、このサポート制度による合意書を締結しています。

滝谷建設工業(株)が町に寄附



二瓶町長に目録を手渡す滝谷建設工業(株)の目黒通浩代表取締役(右)

滝谷建設工業(株)は2月9日に開催された第41回雪と火のまつりの出店売上金5万円と、まつりで使用するベニヤ合板50枚を町に寄附しました。目黒通浩代表取締役が役場を訪れ、二瓶町長に目録を手渡しました。ありがとうございました。

第41回雪と火のまつり 137業者が協賛

町内 57 業者	345,000 円
町外 80 業者	739,000 円
合 計	1,084,000 円
協賛酒 32 本 (6 業者)	

多くのご協賛に厚く御礼申し上げます。
雪と火のまつり実行委員会



フットサルの県大会に出場した三島サッカースポ少の児童たち

三島サッカースポ少 会津予選を勝ち抜き県大会出場 郡山カップ第7回県フットサル選手権

三島サッカースポーツ少年団は、郡山カップ第7回福島県フットサル選手権大会に出場し、会津地区予選を突破して県大会に出場しました。

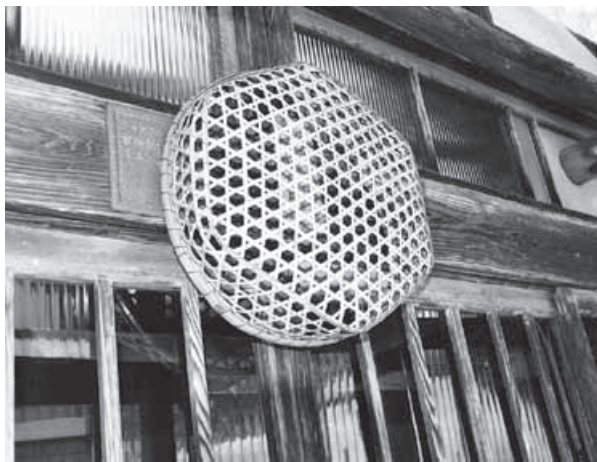
県内6地区の予選には合計72チームが出場。県大会は2月9日・10日、郡山市で開催され、地区予選を勝ち抜いた16チームが県内一をかけて競いました。三島は県内の強豪チームを相手に健闘しました。



文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)

「コト八日」の疫病神除け 大登地区

2月8日は民俗学で「コト八日」と呼ばれる特異日です。この日は家々に厄をもたらす疫病神が入り込むので、玄関先にメカイを掛けて追い払います。疫病神は一つ目をしているので、玄関先に百個余りも目のあるメカイを掛けておくと、この家には自分より恐ろしい怪物が棲んでいると思い、早々に退散します。文化4年の「大谷組風俗帳」にも、メカイを掛けて疫病神を除ける記事があり、江戸時代から続く大切な年中行事の一つです。大登の角田新一さん宅では12月8日にも行っています。



玄関にメカイを掛けて疫病神を追い払う「コト八日」



プレイバック 広報みしま
町政だより No.2
1987年(昭和62年)11月号から



約2,000人が来場した美坂高原牛肉まつり。鶏レースではたくさんの人がコースを取り巻いた

天高く馬肥ゆる秋 第6回美坂高原牛肉まつり

10月第1日曜日は恒例の美坂高原牛肉まつり。素晴らしい晴天のもと2,000人を集めて開催されました。紅葉には少し早く、夏を思わせる日差しと牛肉は、訪れた人々に十分な満足感を与えていました。今年は限定300口。ちょうど牛一頭分の肉450kgが2時間あまりで人々の胃袋におさまりました。牛のものの照り焼きの煙で、周囲の紅葉が少し早まったのではと思うほどでした。また会場では鶏レースや人間ばん馬レースなども行われ、多くの参加者で沸きました。

民話

第24話

地藏浄土

むかあし、あつたど。あるところに良い爺さまと婆さま、また悪い爺さまと婆さまが互いに暮らしてたど。ある時、良い爺さまと婆さまは団子こしやって食つてたど。したら一つ残つちまつたど。婆さん食え、爺さん食えなんていううち、団子がひとんじえ外さ転がりだしたど。やれやれ爺さんが追っかけたど。

「団子、団子、どこまで、どこまで」

「すんじやの御山のこつけらぶきの堂まで、堂まで」

追っかけていったら地藏様立つてで、地藏様の口さ、ぱっくりしょと団子が入つちまつたど。不思議だと思つてだら地藏様が、

「爺さま、なんともしようねえ。団子口さ入つたから食つちまつ

た。つぐないに金儲けさせつから、今晚こさ泊まれ。鬼どもがここでバクチ打ちやつから俺の裏さ隠つちえろ。頃合い見て、鳥のまねしつとせ鬼の野郎みんな銭置いて逃げつからな。それ持つていいぞ」

「トテコッコツ」

ちゅつたら、鬼だれ、

「やれ大變だあ。朝んなるわー」

銭みんな置いて逃げてつたど。爺さまは地藏様にお札申して銭もらつて家さ来たど。

「婆さん、こういう訳であつた」

「隣の爺さまに聞かれつと悪いがら、しんずかにあけるよ」

婆さま喜んでジャラジャラーンとあけつちまつたのな。ちげえねえ、隣の意地悪爺さまだれ聞きつけて、

「なんだどお。ずもねえ金儲けしたんねえが。銭の音聞けえだぞ」

どつて来たど。そんじえその話したら、

「んじやーおら家もやつてみん

べ」

どつて二人で団子こしやって食つて、一つ残して、団子転びもしねえのに足でコロコロけつたぐつて、地藏様んどこさ行つて、地藏様の裏さ隠つちやど。すると鬼どもがいつぺえ来てバクチ打ち始まつた。ほんで意地悪爺さま、待ちぎんにえで鳥の鳴きまねしたど。こつばやくまねしたべえ。

「ゆんべなも下手なにわとり鳴くど思つたら、今来たばつかなのに変だな」

どつて地藏さまの裏さ来て爺さまんどこめつたど。

「こらあ、ゆんべなも下手なまねしてなんちゅうふてえ隠居だあ。おもさもひつぱたいてしまえ」

なんて大勢にたたかちえ金儲けどこのさたでねえ。あつちこつち血流して家さ帰つたら、婆さまも待ちぎんにえで外さ出たら、爺さまがあーあーどつて泣きながら戻つてきたど。

「やつぱり人まねはできねえなあ。ろくなごどねえがら」

それからは意地悪やめて、良い爺さま婆さまになったど。

ざつと昔、栄え申した。

掲載協力者 杉本ミツイさん(松原)



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 ⑨～④ 9:00～21:00 ⑨⑩ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始 ⑩教育委員会 ☎(48) 5599



拉致と決断
蓮池薫 著
新潮社

「北」での24年間で初めて綴った迫真の手記。監視下の生活、偽装経歴、脱出の誘惑、洗脳教育、親としての苦悩、電撃帰国の真相・・・感涙のドキュメントです。



スキップ
北村薫 著
新潮文庫

まどろみから覚めたとき、17歳の私は25年の時空を軽々飛んで42歳の私になっていた。しかも17歳の娘がいる国語教師として！



ぼく、
アンパンマン
やなせたかし 作
フレーベル館

すんでいるところや、なかまたちなど、アンパンマンのきほんじょうほうが、このほんでわかるよ。

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へ
(ご遺志によるもの)

小林正明様 (桑原)

田中勘吉様 (西方)

二瓶耕一様 (大谷)

中村秀臣様 (西方)

内藤義晴様 (滝谷)

石岡利之様 (大登)

国家公務員
採用試験

人事院では次のとおり国家公務員採用試験を実施します。申し込みはインターネットで行ってください。

◆総合職試験（院卒者・大卒程度）
申込受付 4月1日(月)～8日(月)
第1次試験 4月28日(日)

◆一般職試験（大卒程度）
申込受付 4月9日(火)～18日(木)
第1次試験 6月16日(日)

◆一般職試験（高卒者）
申込受付 6月24日(月)～7月3日(水)
(郵送・持参) 6月24日(月)～28日(金)
第1次試験 9月8日(日)

※インターネットでの申し込みができない環境にある場合は、総合職試験は3月11日から29日までに、一般職試験（大卒程度）は3月21日から4月8日までにお問い合わせください。

●人事院東北事務局 第二課試験係
☎022 (221) 2022
http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm

国税専門官
採用試験（大卒程度）

国税専門官は国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において調査・徴収・検査や指導などを行う税のスペシャリストです。

◆第一次試験 6月9日(日)

◆受験資格

①昭和58年4月2日から平成4年4月1日生まれの人

②平成4年4月2日以降に生まれた人で次に掲げる者

(1) 大学を卒業した者および平成26年3月までに卒業する見込みの人

(2) 人事院が(1)と同等の資格があると認める人

◆申込受付

①インターネット申込
4月1日(月)～11日(木)
http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html

②郵送・持参申込
申込先 仙台国税局
申込期限 4月1日(月)～2日(火)
※郵送は通信日付印有効

●仙台国税局 人事第二課
☎022 (263) 1111



登記相談は
フリーダイヤルで

法務局では、被災された皆さまから、不動産や会社などの登記に関する相談をお受けするフリーダイヤルを設置しております。お気軽にご利用ください。

登記相談フリーダイヤル
0120 (227) 746

受付時間 平日 8:30～17:15
休日 9:00～16:00

〔相談例〕

○相続に関する登記手続き

○被災建物の代替建物を取得した際の登記手続き

○会社の役員変更の登記手続き

○土地や建物の権利証の紛失

○会社の印鑑や印鑑カードの紛失

●福島地方方法務局 総務課
☎024 (534) 1983

中小企業の債務問題や
事業再生の相談

県産業復興相談センターでは、中小企業の皆さんの債務問題の相談や、事業の再開・再生に向けた支援を行っています。税理士などの専門家が、相談から具体的な支援まで一貫してサポートします。

相談は無料で、秘密は厳守いたします。詳しくは県産業復興相談センターまたは最寄りの商工会議所、商工会にお問い合わせください。

●県産業復興相談センター
福島市駅前（佐平ビル9階）
☎024 (573) 2561
受付時間 8:30～17:15（平日のみ）

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯（1月）

2件

「押し買い」の被害急増

◆押し買いとは

自宅を訪ねてきた業者が、指輪やネックレス、和服などを強引に安価で買い取っていくものです。中には応対するまで何度もチャイムを鳴らしたり、無理やり家に上がり込んで物色するなど悪質な業者も見られます。

◆対応方法

①売る気がなければきっぱりと断り、絶対に家に上げない。

②買い取りを依頼する場合は一人で応対せず、家族や近所の方に同席を頼む。

③買い取り条件や連絡先などが明記された書面を必ず受け取る。

④クーリング・オフ制度を活用する。

⑤強引に家に入ってきたり、断っても帰らない場合は警察に通報する。

街頭犯罪発生件数（1月）

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
全 刑 法 犯	4	2

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

福島県の最低賃金は
時間額664円

最低賃金は、常用・臨時・パート・アルバイトなどの名称にかかわらず、県内の事業所で働くすべての労働者に適用されます。

※金額は時間額です。

福島県最低賃金	664円
産業別最低賃金	
非鉄金属製造業	778円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	730円
輸送用機械器具製造業	765円
計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	763円
自動車小売業	761円

③実際に支払われる賃金から、次の賃金を除外した額が最低賃金の適用対象となります。

①臨時に支払われる賃金（結婚手当など）

②1カ月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与など）

③所定労働時間を超える時間の労働に対して支払われる賃金（時間外割増賃金など）

④所定労働日以外の労働に対して支払われる賃金（休日割増賃金など）

⑤午後10時から午前5時までの間の労働に対して支払われる賃金のうち、通常の労働時間の賃金の計算額を超える額（深夜割増賃金など）

⑥精皆勤手当、通勤手当、家族手当
※産業別最低賃金の一部に適用除外業種や業務があります。

※最低賃金以上の賃金を支払わない場合は処罰の対象となります。

●福島労働局 賃金室
☎024 (536) 4604

ふくしま心のケアセンター
被災者電話相談

ふくしま心のケアセンター（福島県精神保健福祉協会）では、電話相談専用ダイヤルを開設し、東日本大震災（地震、津波、原発事故）とその後のストレスにより悩みを抱えている方々、その支援をされている方々などからの相談に応じています。

専門の相談員（看護師、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、臨床心理士など）がお一人お一人の状況に合わせて対応します。

被災者相談ダイヤル
ふくこライン
024 (531) 6522
平日 9:00～12:00、13:00～17:00
専門の相談員がお受けします。

こんなこと、気になっていませんか？
一人で抱えていませんか？

○最近、眠りが浅い。

○食欲がない。

○体重が増えたり減ったり。

○小さな音にも驚いて不安になる。

○災害がよみがえってきてつらい。

●ふくしま心のケアセンター
会津方部センター
〒965-0873 会津若松市追手町7-40
(会津保健福祉事務所内)
☎080 (2814) 1923

町の人口と世帯
2月1日現在

人口	1,900	-7	出生	0
男	910	-4	死亡	7
女	990	-3	転入	0
世帯	836	-1	転出	0

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

広報みしま 2013.3

伝統に彩られた雪の世界

第41回雪と火のまつり



2



3



1



4



5



6



7



8



9



10



11



12

1_ まつりのメインイベント、サイノカミが赤々と燃え上がり、粉雪が舞う夜空に花火が輝いた 2_ 雪の中で楽しい一日を過ごした子どもたち 3_ 思い切り飛び込んだ雪上フラッグ 4_ サイノカミを立てた桧原地区の皆さん 5_ サイノカミを立てた川井地区の皆さん 6_ 高さ20mを超えるサイノカミの御神木 7_ 中学生は8mほどのサイノカミ作りを体験。力を合わせて杉を運び出した 8_ アンコウのつるし切りを披露した若松光さん（いわき市四倉） 9_ 振る舞い酒も雪まつりの醍醐味 10_ 出店の食べ歩きも楽しい 11_ 地産地消の地鶏そばは毎回人気 12_ おでんでも冷えた体を温めた 13_ くじ付きのみかんまきで盛り上がりは最高潮に。福を引き寄せた当選者には各種景品が贈られた



13



第41回雪と火のまつりは2月9日、町民運動場で開催されました。前日までの大雪で積雪はたっぷり。真っ白な会場に優しく雪が舞い、色とりどりの団子の木が輝きました。

団子さしには老人クラブ女性部の皆さんが協力。また西方婦人会の皆さんが御護符もち2千個を作り、会場のほか旅館宿泊客にも配られました。高さ20メートルを超えるサイノカミは今年も桧原・川井地区の皆さんが立てました。また大登地区の皆さんの指導により、小中学生がサイノカミ作りを体験。いわき市四倉からの参加も毎年恒例となり、約60人が雪を満喫しました。会場は出店でにぎわい、楽しい雪上イベントで寒さも吹き飛ばしました。

町内外の137業者が協賛し、歴史あるまつりの開催を支えました。

雪国の技に、今年も会える。

3月16日(土)・17日(日)

第32回 三島町生活工芸品展 9:00~17:00 生活工芸館

第12回 全国編み組工芸品展 9:00~17:00 交流センター山びこ

入賞者表彰式(経済産業大臣表彰ほか)、展示販売、実演、体験コーナー

雪が積もる冬の期間に、家の中で行う手仕事として受け継がれてきた道具作り。丹精込めて作られた素朴な品々が、今年も勢ぞろいします。

③当日は大変込み合うことが予想されます。また雪が降ることもある時期ですので、お車の運転など十分注意してお越しください。

☎生活工芸館 ☎ 0241 (48) 5502

福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 395

<http://www.okuaizu-amikumi.jp>

写真/マタタビざる